

長久手生まれ長久手育ちの市議会議員 山田けんたろう活動報告

みらい
通信
2023 新年号



故郷 長久手市のため 真っ直ぐに！！ Vol.25



ジョグパトでおなじみの
山田けんたろうです。



令和4年 第4回 長久手市議会定例会（12月議会） 議会報告

11月24日（木）から12月19日（月）の26日間を会期とした「令和4年第4回長久手市議会定例会」を開き、令和4年度長久手市一般会計補正予算（第9号）をはじめとする予算議案など計18件を審議、採決致しました。私は、今議会も「総務くらし建設委員長」「予算決算委員会総務くらし建設分科会長」として精一杯勤めました。詳しくは、長久手市議会発行の「ぎかいたいむ2月1日号」にてお伝えさせて頂いておりますので、ご一読を頂ければ幸いです。



PICK UP NEWS

高校生世代の入院医療費助成の拡大



令和5年1月1日より、高校生世代の入院に係る医療費に対する助成事業の所得制限が撤廃され、本市在住の高校生世代全員の入院に係る医療費が助成対象となりました。

令和5年1月1日より、高校生世代（※）の入院に係る医療費助成制度の所得制限が廃止されます。これまで、長久手市では入院に係る子ども医療費助成について、中学校卒業までの全ての方と高校生世代の非課税世帯の方のみが対象でしたが、令和5年1月1日からは、この所得制限を廃止し、高校生世代全員が助成対象となります。詳しくは、長久手市役所保険医療課医療係までお問い合わせください。

（※）高校生世代・・・16歳に達する年度の4月1日から18歳に到達した最初の3月31日までの方

1. 通院に係る医療費助成はこれまでどおり、中学校卒業までの全ての方が対象となります。
2. 高校生世代の入院費用の助成方法は、医療機関で費用をお支払いの後、必要書類を市役所へご提出ください。
3. 入院に係る助成の対象は医療費のみです。保険適用外診療分や食事代、部屋代等は助成の対象外となります。

本会議及び委員会のライブ配信開始にむけて

これまで長久手市議会では、本会議の一般質問について録画配信の形で、インターネット上で公開してまいりましたが、この度、更に「開かれた議会」を目指すものとして、新しい生活様式やオンラインに対応できる議場環境を整備しています。

令和5年 第1回定例会（3月議会）より、これまでの一般質問に加え、本会議や委員会の様子をライブ配信し、市民の皆様にご自宅や出先でご視聴頂ける予定です。



MaaSの実証実験

令和4年9月15日から令和5年2月15日の期間で、愛知県のMaaS実証実験「カリテコバイクポート」が市内外各所に設置され、イオンモール長久手、IKEA長久手、長久手温泉ござらっせ、藤が丘effe（名古屋市名東区）をつなぐ形で試験的に運用されました。

MaaSとは（Mobility as a Service）の略で、出発地から目的地までの移動に対し、様々な移動手段・サービスを組み合わせる一つの移動サービスとして捉えるものです。

移動手段選択の最適化により混雑緩和や環境負荷低減など様々な効果が期待できます。令和3年第1回長久手市議会定例会（山田けんたろう一般質問）「あえて歩いてみたくなるまちについて」の中で質問と提案を行いました。（みらい通信Vol.19参照）



< 福祉の家に設置されたカリテコバイクポート >
（写真協力：愛知県）

長久手市の持続可能な都市づくりを

現在の長久手市の発展は、市民による昭和47年から続く、土地区画整理事業による美しく住みよい都市基盤の整備が大きな礎となっています。この美しく住みよい都市基盤を持続可能な都市として、次世代に継承していくための課題と市の取り組み及び方針を質問致しました。

市の主な答弁より

本市の市街化区域の約8割が土地区画整理事業により整備された市街地であり、道路、公園、下水道等の都市施設においても、今後、逐次老朽化が進むことになる。

また、本市における将来的な人口減少及び急速な高齢化、生産年齢人口の減少による担い手不足に伴い、財政力の低下が予想される中、都市基盤の維持管理水準の低下が懸念され、税収減を補う新たな財源確保や、公共施設の適正化、維持管理手法の検討が課題と考えられる。

この将来的な人口減少、高齢化、都市施設の老朽化を見据えたまちづくりについて、令和4年度及び令和5年度の2か年で長久手市立地適正化計画を策定する中で、持続可能な都市づくりに向けた市の取組及び方針を検討していく。

郷土の歴史の継承を

本市の棒の手や警固祭り等の文化財の保護及び支援状況や、棒の手、警固祭り等の文化財を守り存続しながら、次世代へ継承していくことについて市としてできることは何か。また、長久手市の郷土の歴史を子どもたちに伝える現在の取り組みについて質問と提案を致しました。

主なQ&Aから

- Q 新たに転入された世帯や若い市民に解りやすいよう分会地図の作成をしてはどうか。
A 各分会の範囲が分かる地図を作成し、市ホームページで周知をしていきたい。



「長久手楓まつり2022にて」
(市民の方からご提供)

SNSを活用した「通報ソリューション」の導入を

道路や公園等の不具合や危険箇所、また、台風等の災害による地域の被害、不法投棄等を市民がSNSを通じ、市に通報をする「通報ソリューション」が各自治体で導入され始めています。本市もこれに取り組みないか質問と提案を致しました。

市の主な答弁より

SNSを活用した「通報ソリューション」は口頭では伝えにくい情報を写真や位置情報で取得でき、初動対応が容易になるというメリットがあるが、電話による通報のような即時性がなく、事務運用の一部修正なども必要となる。費用対効果等も合わせて検証し、導入について検討していきたい。

市民に寄り添った補助事業を

令和4年3月策定の長久手市補助金等の適正化に関するガイドラインの検証の視点には、補助事業(補助の内容)について「効果が幅広く市民生活の維持・向上に不可欠なものか」「市民ニーズに応じたものか」とあります。

現在の市の各補助事業は、市民に寄り添った行政サービスとなっているか質問を致しました。

市の主な答弁より

補助事業は、公益性・有効性・妥当性・補完性・公平性・透明性の視点から、市民の理解を得られる適切な内容で条件も定められている。

12月議会も、子どもからご高齢の皆さまをはじめ、故郷、長久手市を想い質問と要望を致しました。



一般質問 録画映像

山田けんたろう プロフィール

長久手生まれ 長久手育ち
長久手市 喜婦嶽出身
長久手市議会議員 2期

長瀬東保育園～長久手西小学校～長久手南中学校 卒
名古屋市内の高校へ進学、大学では建築学を専攻

- 総務くらし建設委員会 委員長
 - 議会運営委員会 委員
 - 広報広聴委員会 広報部会員
 - 尾三消防組合議会議員
 - 尾三消防組合議会 議会運営委員会 副委員長
 - 長久手市都市計画審議会委員
 - 自民党愛知県支部連合会 青年局 顧問
 - 自民党長久手市支部 事務局長
 - 長久手市商工会 青年部
 - 長久手市郷土史研究会
 - (一社)愛知中央青年会議所 第33代 理事長
 - 第41回 JC青年の船「とうかい号」チームリーダー
 - 第49回 名古屋まつり 第30代 織田信長役
 - 防災士
- ◇ 家族 妻と子2人(1男1女の父) 犬2頭
◇ 趣味 ドライブ 映画鑑賞

活動実績

- ◆ 長久手東小学校区の交通指導員増員
 - ◆ 史跡案内看板の新設、リニューアル
 - ◆ ジョギングパトロールの導入
 - ◆ 乗り合いタクシー実証実験の導入
 - ◆ 公園西駅周辺地区 設計変更(生活利便施設が誘致可能に)
 - ◆ 就労支援コーディネーターの配置
 - ◆ あったかあとの普及、サービス拡充
 - ◆ 長久手市消費生活センター設置
 - ◆ 男性専用相談窓口の設置(子ども家庭課)
 - ◆ N-バスのタイヤ、ルートの提案導入
 - ◆ 自転車条例に保険加入を提案導入
 - ◆ 公用車にドライブレコーダー装備
 - ◆ A I 翻訳機・タブレット翻訳機の導入
 - ◆ 杖ヶ池公園第2駐車場と杖ヶ池公園を結ぶ横断歩道の設置
 - ◆ 消防団入団資格を市内大学在学者へ拡充
 - ◆ MaaS(マース)実証実験の導入
 - ◆ 市内各所の交通安全対策は即行動
- など

長久手市議会議員 山田けんたろう 発行
(長久手市喜婦嶽)

市民の皆様のお声をお待ちしています。
お気軽にお声がけ下さい。

Web <https://yamada-kentaro.com>
E-Mail nagakute@yamada-kentaro.com
TEL 0561-62-0111 (携帯電話へ転送有)
FAX 0561-62-1118



Facebook
LINE
Instagram
毎日更新中



山田けんたろう
ホームページ